

2010年度

第5回 日本語海外研究者招聘事業 応募要項

「日本語海外研究者招聘事業」について

財団法人 博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省（当時）認可の財団法人として1970年に設立されました。

当財団では、児童の教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動をしています。

2006年から開始しました「日本語海外研究者招聘事業（旧称：博報日本語海外研究者招へいプログラム）」は海外の上級研究者を招聘し、日本における滞在型研究を通して、日本語研究・日本語教育研究の更なる深化と実践化、および国内外の当該研究の基盤を充実させることを目的としています。

海外における日本語研究・日本語教育研究は、日本や日本語への国際的な理解を深めるとともに、日本における同領域の研究に対しても、貴重な示唆をもたらすものと考えています。

ここに、第5回「日本語海外研究者招聘事業」の募集を発表いたしましたので、御案内申し上げます。

2009年10月1日

財団法人 博報児童教育振興会

THE HAKUHO FOUNDATION

1. 目的

海外で研究する上級研究者を招聘し、日本における滞在型研究を通して、日本語研究・日本語教育研究の更なる深化と実践化、および国内外の当該研究の基盤を充実させることを目的としています。

2. 対象者および申請資格者

招聘対象者は、次のいずれにも該当することとします。

- ①日本語研究、日本語教育研究に従事する者
- ②優れた研究業績を有する大学の教授もしくは准教授およびこれらに相当する研究職歴を有する者
- ③原則として外国籍を有する者（ただし、日本国籍を有する者でも、外国に概ね10年以上在住し、当該国の学界で活躍している者を含みます）

3. 招聘期間

研究テーマ又は招聘者の事情を勘案し、短期招聘（6ヶ月）および長期招聘（12ヶ月、ただし365日未満）のいずれかとし、下記の時期に滞日可能な研究者とします。

短期招聘 2010年10月上旬～2011年3月下旬

長期招聘 2010年10月上旬～2011年9月下旬

※特別の事情がある場合に限り、期間内で調整に応じますが、租税条約の観点から滞在は365日未満とします。

4. 招聘人数

短期招聘および長期招聘を合わせて3～5名程度

5. 受入機関

以下のいずれかとなります。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所
国立大学法人 お茶の水女子大学
学校法人 早稲田大学

6. 助成内容

招聘研究者には、次の助成を行います。

- ① 渡航費 航空券で支給
- ② 滞在・研究費 月額30万円
- ③ 住居補助費 月額15万円（上限）
- ④ 渡日一時金 30万円
- ⑤ 海外旅行傷害保険

7. 応募手続

- (1) 提出書類
 - ①招聘研究者申請書（申請書の記載は日本語に限ります。）
 - ②推薦書（英文で作成する場合は、和訳した文書を添付してください）
※所属機関がある場合は、所属機関長の推薦書

※所属機関がない場合は、過去に指導を受けた指導教員等の推薦書
③論文（申請書の主な業績・著作欄に記載した代表的な論文1本）および
その要旨（日本語で800字程度）

(2) 募集期間 2009年10月1日～2009年11月30日（必着）

※実際の研究は、2010年10月～2011年9月の期間内

8. 審査

- (1) 招聘研究者の選考は、審査委員会を設置し、研究業績および研究計画を審査することにより行います。
- (2) 審査に際しては以下の点が重視されます。
 - ・ 日本語研究および日本語教育研究いずれかの領域であること
 - ・ 日本滞在型研究による価値・成果が望めること
 - ・ 当該研究領域の更なる深化・進展に寄与する研究内容であること
 - ・ 日本の教育現場での実践につながる研究内容であること
 - ・ 海外での日本語教育基盤の整備・進展に寄与する研究内容であること
- (3) 審査結果は、2010年2月下旬（予定）に文書で通知します。
- (4) 審査結果に関する個別のお問い合わせには応じかねますので御了承ください。

9. 招聘期間中の研究活動

- (1) 受入機関内の施設・設備を使用して、研究員との研究協力、情報交流などを通じて研究活動を行います。
- (2) 研究上の必要がある場合は、受入機関以外の研究者と研究交流を行うことができます。

10. 研究報告

- (1) 短期招聘研究者は、招聘期間終了前に最終報告をしていただきます。
- (2) 長期招聘研究者は、研究開始より半年後に中間報告、招聘期間終了前に最終報告をしていただきます。※(1)(2)共に財団事務所にて行います。
- (3) 招聘研究者は、招聘期間終了後1ヶ月以内に研究成果報告書を財団事務局に提出していただきます。
- (4) 招聘研究者は、招聘期間終了後（少なくとも3年間）年に1回、その後の研究活動の進展や実践状況についての報告書を財団事務局へ提出していただきます。
（進展がある場合、3年以降も随時、報告をお願いする可能性もあります。）
- (5) 招聘研究者は、財団および受入機関の要請により、刊行物およびシンポジウムなどで、研究成果の発表をしていただきます。

11. 応募書類の送付先・連絡先

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町K Sビル
「日本語海外研究者招聘事業」事務局
（電話）03-3263-8695 （FAX）03-3263-8687
（E-Mail）hakuhoip@secretariat.ne.jp

第5回「日本語海外研究者招聘事業」に関する日程

応募受付期間	2009年10月1日～2009年11月30日
結果通知	2010年 2月下旬（予定）
招聘期間	2010年10月上旬～2011年 9月下旬
報告会	2011年 3月下旬および9月下旬
成果報告書の提出	招聘期間終了後1ヶ月以内
経過報告書の提出	2012～2014年（3年間、毎年1回）

財団法人 博報児童教育振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8F
TEL 03(5570)5008
FAX 03(5570)5016

ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>